

第192回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成27年10月)

2015.10.29

株式会社 岩手朝日テレビ

第192回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成27年10月29日(木) 午前11時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ3F大会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 5名

委員長	村田久
委員	小原俊英
委員	小松豊
委員	佐藤克也
委員	そのだつくし

欠席委員数 2名

委員	田口信之
	畠山さゆり

会社側出席者名

代表取締役社長	富永健治
常務取締役	長生正広
報道制作局長	佐々木貴
報道制作局担当部長	田村道代
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	柏葉智
番組審議会事務局	佐野尚

4. 議 題

(1) 合評番組：「いいコト！」

放送日時：平成27年10月17日(土) 午前9時30分～午前10時50分

(2) 11月単発番組及び10月の視聴率について

(3) 次回審議会

開催日：平成27年11月26日(木) 午前11時～

合評課題：「勝手に観光大使」

放送日時：平成27年11月7日(土)午後0時～0時55分

(4) その他

5. 概 要

- ・委員からは「日帰り温泉の特集は、カメラアングルに工夫があり、映像が美しく、また取材が丁寧だったので、行ってみたいという気持ちになった」、「天気予報の紅葉情報では、葉の色づき具合が名所ごとに表現されていて分かりやすかった」という評価があった。
- ・「中継では出演者らに慌ただしさが感じられたので、もう少し段取り良く進行できるよう工夫してほしい」という意見が出た。

6. 議事の内容

柏葉事務局長) 定刻となりました。本日もお忙しい中お集まり頂きありがとうございます。只今より、第192回 岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。本日は合評課題番組におきまして、報道制作局 佐々木局長、田村担当部長が出席しております。後ほど合評の際は宜しく願います。それでは村田委員長、議事をお願いいたします。

村田委員長) おはようございます。富永社長、宜しくお願いします。

富永社長) 今日は2つほどお話をしたいと思います。以前もお伝えしましたが、キー局が始める無料放送サービス「TVer」が9月26日からスタートしました。見逃した番組を1週間程度無料で配信します。ドラマを中心に10番組くらい放送することです。ローカル局としては視聴率への影響、無料で放送するためスポンサーの提供を付けるわけですが、昨日テレ朝のTVerを見ましたがスポンサーは付いていませんでした。どれくらいアクセス数があるか分かりませんが、いろいろ影響が出てくるかと心配をしています。

もうひとつは、海外番販についてです。総務省の委託事業で三菱総合研究所が実施している地域経済活性化に資する放送コンテンツの海外展開モデル企画がございまして。これは日本と距離的にも近く文化的にも似ているアセアン諸国において展開している海外ジャパンチャンネルを通じて、日本の物作りサービス等を紹介する番組を、国内で調達して放送する事業です。日本各地には世界に誇れるような技術が数多くあります。またアセアン地域とは違った自然や文化があります。そういった事柄を映像を通じて海外に発信することにより地域活性化を促すことにつながります。応募は海外番販と新規番組制作があります。海外番販にIATも2番組応募しました。6月27日に放送しました「いわて北三陸」の番組と8月29日に放送しました「岩手満喫旅」、この2番組を応募しましたが、どちらも採用されました。海外への番販は開局以来初となります。これを機会に海外番販の拡大をしていきたいです。

村田委員長) ありがとうございます。何もなければ単発と視聴率について事務局から願います。

柏葉事務局長) では、11月の単発番組と10月の視聴率についてお手元の資料によりご説明させていただきます。

まず、11月の単発番組です。ご覧のように、11月はスポーツ単発目白押しです。まずは、ゴルフです。1日は「マイナビABC チャンピオンシップゴルフトーナメント 2015」、そして「樋口久子 Ponta レadies 2015」を、14日・15日は「伊藤園レadiesゴルフトーナメント 2015」をお送りします。続いてフィギュアスケートです。1日は羽生結弦選手が出場する「フィギュアスケートグランプリシリーズ カナダ大会」を6日・7日は浅田真央選手が出場する「フィギュアスケートグランプリシリーズ 中国大会」を15日は宇野昌磨選手が出場する「フィギュアスケートグランプリシリーズ フランス大会」をお送りします。次に野球です。今年から4年に一度の開催で、WBSC（世界野球ソフトボール連盟）野球世界ランキング上位12の国と地域が戦う最高峰の戦いが始まります。それが世界野球プレミア12です。第1回の今年、日本と台湾の共催です。5日はその強化試合「日本×プエルトリコ」を8日は開幕戦「日本×韓国」を、11日は予選ラウンド第2戦「日本×メキシコ」を14日は予選ラウンド第4戦「日本×アメリカ」をまた日本が進出した場合のみ、21日に決勝若しくは3位決定戦をお送りします。そして駅伝です。1日朝7時から「JAバンクスポーツスペシャル第47回全日本大学駅伝対校選手権大会」をお送りします。続いて自社制作番組です。7日午後0時から秋田朝日放送との共同制作番組「勝手に観光大使・・・秋の陣！」をお送りします。岩手のローカルタレント・ふじポンと秋田のローカルタレント・シャバ駄罵男が「観光大使」を名乗り地元のおき場所や食べ物を外国人3人に案内する体験型バラエティーです。岩手では巖美溪やえさし藤原の郷を訪れます。是非ご覧下さい。28日午後1時から「きそえ つどえ かがやけ 農(みのり)と輝(ひかり)の大地で～スキー王国・八幡平！」をお送りします。2016年いわて国体冬季大会での活躍が期待される八幡平出身の三ヶ田選手をはじめとする注目選手の意気込みと国体に向け準備を進める八幡平の取り組みを紹介します。

次に、10月の視聴率についてです。ご覧のように全日7.0%、ゴールデン 11.7%、プライム 11.7%、プライム2 6.2%となり、全日、ゴールデン、プライム、プライム2は全てにおいて民放2位という結果でした。10月はお覧のように、10月スタートドラマ「相棒14」初回2時間スペシャルが19.5%、第2回が15.2%と好調な滑り出しと共に13日の「芸能人格付けチェック3時間スペシャル」が20.4%、22日の新番組「遺産争族」が13.9%、23日の「こんなところに日本人」が13.9%と高視聴率を獲得し、「報道ステーション」も2週平均で11.8%、また午後6時15分からの「スーパーJチャンネルいわて」が

2週平均で9.2%、22年ぶりに番組タイトルが帰ってきた8時からの「羽鳥慎一のモーニングショー」が7.2%と安定した視聴率を獲得し、先ほどご報告した全ての時間帯において民放2位となりました。11月の単発と10月の視聴率については以上でございます。

続きまして、放送番組の種別ごとの放送時間についてご報告させていただきます。これは、放送法に基づき、4月と10月の年2回番組審議会にて報告することになっておりますが、今回は今年4月から9月までの6か月の放送番組種別ごとの放送時間を報告いたします。それではお手元の資料をご覧ください。各月第3週が対象期間となっており、その対象期間の放送時間全体が56,673分でした。その内訳は報道が13,172分で対象期間の放送時間全体からの割合が23.2%、教育が7,415分で割合が13.1%、教養が12,524.5分で割合が22.1%、娯楽が17,699.5分で割合が31.2%、その他通信販売が5,365分で割合が9.5%、その他（オープニング・クロージング）が497分で割合が0.9%でした。また、対象期間におけるCMの放送時間は8,661分15秒で割合が15.7%でした。尚、放送法で決められている放送局としての免許条件である、「教育番組」10%以上、「教養番組」20%以上、「CM時間」18%以下の条件は満たしております。

以上、本日の番組審議会にご報告させて頂くと共に、後日IATのホームページにも公表いたします。

村田委員長)

単発と視聴率についてご意見ありますか？ なければ合評課題に移らせていただきます。今日はそのださんからお願いします。

そのだ委員)

日帰り温泉のスポット紹介3カ所の中に私もよく行く“ゆこたんの森”もあった。季節的にもいい時期だなと。泊りだと金額が気になるが、日帰りなのでリーズナブルで庶民向け。他は愛隣館と夏油温泉。親子や家族で行くようなことが想像できる。場所の選択が良かった。並行してホームページも見ていたが、写真と文章のバランスが良かった。後から復習するにはとても良く役に立つ。

中継の花巻のハロウィンフェスタは、温泉の映像とは違ってバタバタしていた。リポーター2人の仮装が面白い。出店はどれも行きたく感じた。気になったのは各店の紹介で出された食べ物を冷ますシーンの尺が長く飽きてしまった。ゲストの湘南乃風・レッドライスさんが意外と普通の人だったのに驚いた。彼のライブには行ったことはないが、彼の曲は好き。だからか少しがっかりした。彼の後ろにゴエティーがい

てかぶっているように見えた。温泉特集のところではサングラスをずらして映像を見ているシーンが貴重だった。

天気予報のシーンで錦秋湖や岩手公園など紅葉の県内スポットごとの表示が色別になっていて見ごろの場所が分かりやすくて良い。気温も高低に分けられていて、私の住む雫石町もすごく寒いところだが、県内の場所に比べてどのあたりのレベルなのか分かるのがありがたい。BGMの紹介も画面右上になされているのが良い。番組全体としてはあまり詰め込んでいないところが良い。某情報番組では映画情報があったりデパート情報があったりと盛り盛りだったりするので。

佐藤委員)

ハロウィンフェスタの中継シーンでは、坂本アナが登場する前に「キュー」の声が流れてしまい、聞きづらかった。仮装パーティーのシーンでは、午前の仮装パレードは締め切ったと言っている割には、盛り上がりを感じられなかった。せっかく仮装している人々が集まっているので、盛り上がっている雰囲気を出しても良いのではないかな。出店の紹介では十和田バラ焼きを出すときにスタッフが見切れた。段取りに問題ありか。浪江焼きそばは坂本アナの地元のようなのだが、麺を1～2本さらっと食べていた。もう少しおいしそうに食べてほしい。ずるっとすすっても構わない。

日替わり温泉特集の“ゆこたんの森”は、たまたま夏に親族含め3家族で泊まった。神賀リポーターが散策するシーンはきれいで良かった。温泉の料金表示が子供〇〇円と出ていたが、子供は何歳からなのか分からなかった。はっきり小学生までとか表示した方が親切。温泉の効能の表示したテロップが小さく見えづらかったので大きくしてほしい。愛隣館では河原と風呂の高低差が分かるようなカメラアングルが良かった。食事の説明は従業員の方が担当していたが、可能であれば女将、若女将、料理長らにやってほしかった。こだわりの部分がよりPRできるから。

番組中にデスクに置いてあるFAX・メールの掲示板があるが、番組終盤になると取り払われてしまう。受付が終わったからそうするのだと思うが、取った後のテーブルの上に原稿が乱雑に置いてあったのが見えたので、番組が終わるまで掲示板を置いておいても良いのではないかな。

小松委員)

中継の屋台のシーンで浪江焼きそばや十和田バラ焼きとかが紹介された。身近な場所で有名なものが食べられることが分かり良かった。ただ八戸せんべい汁の冷ましガールズは微妙だった。屋台のシーンが終始逆光だったのでもう少し工夫してほしい。日帰り温泉のコーナーでは“ゆこたんの森”

が紹介されていたが、翌日午前早めに行ってみたところかなり混んでいた。放送のおかげかと感じた。ただ料理の紹介シーンでサンマやホタテなど海の幸がメインだったので、紅葉の美しい山の宿にはそぐわない気がした。宿の都合だとは思いますが。天気のコナーでは、画面の構成は良いが切り替わりが少々早い気がする。中継の坂本アナは依然と比べるとどこちなさがなくなり自然な感じになっていた。このまま努力して行ってほしい。

小原委員)

同じ時間帯に他局でも同様の番組をやっている。中継があり、グルメ、温泉、クイズ、プレゼントが一連の流れ。岩手朝日テレビのオリジナリティーがほしい。ゲストに湘南乃風・レッドライスさんが出演していた。私はあまり存じ上げていないが会社の若い社員は良くカラオケで歌っている。たまたまライブがあつて番組に出たのだろうけど、インパクトがあつたと思う。番組の構成だが最初に中継があつて温泉、そして中継に戻った。私個人としてはその流れをまとめた方が見やすくなって良いかと。

村田委員長)

冒頭のハロウィン中継の高野リポーターの振る舞いは視聴者的に好き嫌いあると思うが、番組全体から見ると以前に比べて取材にメリハリが出てきて、カメラアングルも良い。日帰り温泉特集は、行ってみたいと思わせるような内容になっていた。手ごろな値段だしいい場所を選んでいる。今後は1泊数万円するような旅館ではなく、大衆的な値段で良さを出すような内容の方が受けると思う。

番組の冒頭でサングラスをかけた見慣れない男性が座っていた。後から湘南乃風のリーダーだと分かったが、ファンとかだったらよいが、分からない視聴者だったら違和感を覚えてしまう。PRだけの登場なら決まったコーナーだけの登場にしたら。番組の間ずっと出続けるのはどうなのか。後で担当者の方に聞いてみたい。スタジオMCらの会話だがごちゃごちゃ言っているように聞こえてしまう。誰が何を言っているのか分からない。全てが悪いとは言えないが、何か1つのことで話し合うときは各自気を付けてしゃべった方が良い。

気になったのは中継時の女性アナの試食のシーン。他の委員の方も言っていたが、ほんの少しか食べて味わうことなくおいしいというのは無理があると思う。どうしてもわざとらしく感じてしまう。まずいと言うわけにもいかないだろうし。試食のシーンは視聴者も注目しているので、大変だとは思いますがもう少し仕草やコメントに工夫がほしい。その他みなさん、言い足りなかったことはありますか。

佐藤委員) VTRの放送中に小窓を設けてMCの顔を入れるが、あまり表情が変わるわけでもないし絵図らが良くないので、無くても良いのではないか。

田村担当部長) 毎回小窓を入れている理由は、スタジオにいるMCが視聴者と同じ目線でVTRを見てどういう反応をするのか、その辺がねらいです。ご指摘通り場面の内容によっては無い方が良くかと思うところもあります。

改めましてご指摘頂いた部分を説明します。中継場所の選定ですが、今回の花巻のハロウィンが営業紹介のものでした。B-1グランプリの屋台など楽しい内容になっていましたが、9時半や10時から始まるイベントは時間ぎりぎりまで準備をするため、スタンバイがうまくいかない場合があります。そのため段取りがうまくいかず、余裕のない中継になってしまいました。

ゲストの湘南乃風・レッドライスさんですが、放送1週間前に出演が決まりまして、チケットも完売していました。来月の仙台公演の告知を含めてやらしてもらいましたが、初めの紹介の分量についてスタッフ内でも議論しました。結果冒頭部分には時間をかけずに、中盤以降に本人紹介のところでも多くの尺を使う運びとなりました。よって最初はゲスト紹介を名前だけにしました。その辺が冒頭の部分で彼が何者なのか分からない状況になってしまったのかもしれませんが。ご意見を部署に持ち帰り反省点にしたいと思います。

村田委員長) ありがとうございます。何かご意見ございますか。何ものなければ次回の開催についてお願いします。

柏葉事務局長) それでは、次回についてご説明いたします。次回の番組審議会は11月26日午前11時からこちらの3階会議室での開催となります。合評課題は、先ほど11月の単発番組でご紹介しました、11月7日午後0時から放送します「勝手に観光大使」を合評課題とさせていただきます。この番組は秋田朝日放送との共同制作番組です。是非ご覧になっての貴重なご意見をお願いいたします。

村田委員長) ありがとうございます。その他ですが、先日全国の番組審議会が東京でありました。みなさんのお手元に資料がありますので、お暇な時でも目を通して頂ければと思います。まとめたものについては事務局から発表させていただきます。

柏葉事務局長) 先週 23 日に開催された「第 84 回テレビ朝日系列 24 社放送番組審議会委員代表者会議」についてご報告します。会議のテーマは、「地域のためにテレビができること～信頼される局であるために～」です。委員の皆様から頂いた IAT の意見を含め、系列 24 局各局からの意見を 9 つのカテゴリにまとめたものがお手元の資料「ご提言まとめ (抜粋)」です。

資料をご覧くださいますと、地域のためにテレビができることとして、①自社制作番組について、②地域に密着したニュース、③地域の“魅力”の掘り起こし、④地域の人に寄り添う、⑤自然災害への対応、⑥自社制作枠の拡大、⑦全国への発信、⑧ネット時代への対応、⑨局・制作者の姿勢についてと、各局から色々な意見が出されています。

この会議では、結論ということはありませんでしたが、簡単にまとめますと信頼される局であるためには、やはり地域に密着したニュース・自社制作番組を発信することが必要であるということ、それをローカルだけではなく全国へ発信できる機会を増やして欲しいという意見が出されました。詳細はお手元の資料をご覧ください。以上でございます。

村田委員長) ありがとうございました。それではこれもちまして、番組審議会を終了します。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置
ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。
系列各局に議事録を送付。
本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。
インターネットホームページに掲載。
9. その他の参考事項
特になし
10. 配布資料
 - ◎ 11月単発番組編成予定表
 - ◎ 10月岩手地区視聴率